

# まちの話だい

## 3月15日 | 新茶シーズンの足音

初倉地区阪本のハウス茶園で、新茶の初摘みが県内の先陣を切って行われました。

約 1,500m<sup>2</sup> のビニールハウスで収穫された茶葉は、初物の中でも特に早い「大走り」と呼ばれます。早朝から農家の女性たちの手で、丁寧に摘み取られたみずみずしい茶葉は、主力茶品種の「やぶきた」。この頃から、萌黄色のPATCHワークが、少しずつ市内に広がっていきました。



## 3月8日 | 現役プロレスラーが夢講話

六合中で全校生徒を対象に、夢のを見つけ方やキャリアの描き方を学ぶ「夢講話」が行われ、現役プロレスラーの三富兜翔さんみとみかぶとが講師を務めました。

三富さんは自身の経験談を交えながら、チャレンジすることの大切さや、勉強をしたことで学んだことなどを語りました。講話には、約 500 人の生徒が参加。生徒たちは、好きなことを仕事にした講師の話に、熱心に耳を傾けていました。

## 3月26日 | 春を告げるかれんな花

牧之原公園にあるカタクリ園で、約 1 万本のカタクリが紅紫色のかれんな花を咲かせました。

大井川流域での自生地は極めて少なく、ほとんどが牧之原台地周辺。カタクリは、発芽してから約 7 年かけて開花します。4 月 3 日まで一般公開された園には、多くの人々が来訪。下向きに咲く直径 5cm ほどの花を眺めたり、写真を撮ったりして楽しんでいました。

